

報道関係各位

2022年5月11日

特定非営利活動法人 ASrid (アスリッド)

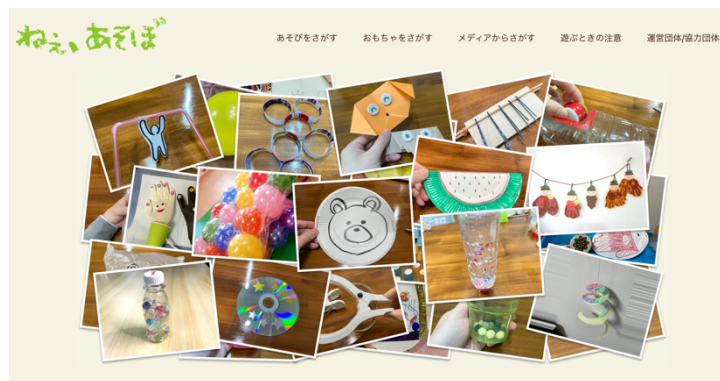
**重症心身障害児・医療的ケア児に向けた遊びの情報ポータルサイト
「ねえ、あそぼ」を公開しました。**

医療的ケアのあるこどもや重症心身障害のあるこどもと
いっしょに楽しめる遊びやおもちゃの紹介サイトです。

特定非営利活動法人 ASrid (所在地：東京都文京区、理事長：西村由希子 呼称「アスリッド」、以下、ASrid) は、医療的ケアのあるこどもや重症心身障害のあるこどもといっしょに楽しめる遊びやおもちゃを紹介する Web サイト「ねえ、あそぼ」を公開しましたのでお知らせします。

「ねえ、あそぼ」

<https://www.ne-asobo.jp/>



「ねえ、あそぼ」Web サイトの特徴につきまして

「ねえ、あそぼ」Web サイトは、重症心身障害児や医療的ケア児（以下、当事者）を育てる保護者や医療福祉・教育サービスを提供する関係者を対象とし、当事者の成長発達段階や症状・障害、必要な医療的ケアごとに実践出来る遊びを紹介する情報ポータルサイトです。

- ✓ 「ねえ、あそぼ」は、だれもがもつ「遊びたい」という気持ちに寄り添った Web サイトです。遊びはすべての子どもの健やかな成長発達にとって必要であることは言うまでもありません。また、病気や障害をもつ子どもにとっては治療的意義も持つために大変重要です。しかし、当事者にも実践できる遊びに関する情報は少なく、また散逸的です。
「ねえ、あそぼ」は、こういった遊びを収集してまとめたポータルサイトです。また、当事者の特性にあわせて実践出来る適切な遊びやおもちゃ、書籍を紹介しています。

- ✓ 「ねえ、あそぼ」は、現場の声からできた Web サイトです。
「ねえ、あそぼ」は、当事者と日々接する現場のかたがたとつくりあげました。具体的には、

20 回を超えるワークショップをメンバー（短期入所施設の職員や役員、おもちゃコンサルタント、小児病院のスタッフ、公認心理師・相談支援員、地域の患者・コミュニティの責任者、おもちゃ美術館のスタッフ、小児科の医師、重症心身障害児施設の作業療法士・理学療法士、児童発達支援施設の管理責任者、看護師、児童など）で開催して、実践している遊びの収集や内容の検討、新しい遊びの作成をおこないました。掲載されている遊びは、実際に実践されている遊びであり、発展形や注意点、実際に遊んだ感想等も掲載されています。

✓ 「ねえ、あそぼ」は、これからも成長していく Web サイトです。

「ねえ、あそぼ」は、遊びを紹介してだけでなく、遊びを収集していく場所でもあります。今後も様々な遊びのコンテンツ（具体的な遊びの内容だけでなくメディアや書籍、市販のおもちゃなど）を紹介していきます。関係者からの情報提供も受け付けていきます。

また、「ねえ、あそぼ」ワークショップを定期的実施して、新しいコンテンツをつくっていきます。これにより、障害や医療的ケアのあるこどもも日常的に実践できる適切な遊びやおもちゃ等の周知につなげ、遊びの保障及び成長発達に繋げていきたいと考えています。

「ねえ、あそぼ」を皆様に幅広く利活用していただく Web サイトとすべく、運営母体である NPO 法人 ASrid、ならびに関係者一同引き続き尽力いたします。皆様の暖かいご支援・ご協力を賜ることができれば幸いです。

* 「ねえ、あそぼ」 Web サイト公開に至った経緯につきまして

NPO 法人 ASrid は、2019 年 9 月から 20 年 4 月にかけて、国立成育医療研究センターもみじの家との共同研究として、「医療型短期入所施設に入所した医療的ケア児とその家族にとっての日中活動“遊び・学び”」について調査研究を実施しました。本調査では国内 4 施設にて医療型短期入所施設（以下、施設）に入所する医療的ケア児とその保護者 230 名、ならびに当事者・施設関係者・教育関係者等 30 名を対象として定量・定性調査をおこないました。その結果、施設での遊び・学びの充実が保護者視点での医療的ケア児の健康関連 QOL を上昇させる可能性があることが示唆されました。また、インタビューからは、全関係者が医療的ケア児への遊び・学びの提供を重要と捉えていた一方、その提供内容やリソース不足といった課題にも言及しました。

医療型短期入所施設における医療的ケア児および家族の QOL 調査研究報告書 <http://urx.red/bcdV>

本報告書には今後に向けた提言を記載しました。そのひとつである「加算・助成に向けた提言」がきっかけとなり、2021 年に厚労省が障害福祉サービス費の報酬改定で「日中活動支援」が新設されました。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/000734439.pdf>

（資料 1 11 ページ「医療型短期入所の受入体制強化」「4 日中活動支援の評価」）

今回の Web サイト構築も、この報告書における提言を受けて実施しました。

なお、Web サイト構築にあたりましては、公益財団法人小林製薬青い鳥財団の助成を受けました（課題名：医療的ケア児のための「遊びの情報ポータルサイト」の構築と展開）。また、ウェブデザインは、前田製作所が担当いたしました。

* 「ねえ、あそぼ」 Web サイト公開の意義につきまして

本 Web サイトの構築は、先に述べた調査の実施時に、「遊び・学びを提供したいが担当スタッフが同じであるため内容が固定化されてくる」「医療的ケア児に対してどういった遊びを提供していいかわからない」といった声や、「年齢が大きくなってきた子どもにアンパンマンをみせることはできないので、医療的ケア児であっても児童の年齢に応じた遊びを提供したい」という意見があったことがきっかけとなっています。

世の中には多くの遊び紹介ウェブサイトやアプリがありますが、重症心身障害児向け遊びをつくっている組織や活動、レポートはいくつも存在し、発信者も医療施設だけでなく個人も含め様々です。しかし、それらの情報がまとまったサイトや、年齢別、症状別に分類された情報サイトは存在しませんでした。また、例えば個人で遊びを工夫してつくっても、その情報を掲載できるサイトも存在しませんでした。「ねえ、あそぼ」は、医療的ケア児向け遊び情報を検索できる初めての Web サイトとなります。

■ ASrid について

ASrid は、希少・難治性疾患分野のステイクホルダー（患者や研究者を含む関係者）が抱える広義の課題解決や負担軽減を行うための仕組み及びサービスを「つくる」「つなげる」ための事業や、当該分野に関連する知識の利用と啓発、ならびに研究の促進に関する事業を行い、公共の利益と経済活性化に寄与することを目的として、2014 年に設立された NPO 法人です。「*to patients, for patients, beside patients*」をスローガンに、希少・難治性疾患分野に数多く存在する「ない」を、少しでも「ある」に変えていくべく、多様な事業を展開しています。

本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 ASrid 西村由希子・江本駿

Web サイト：<https://asrid.org/> メールアドレス：contact@asrid.org

（お問い合わせはメールでお願い申し上げます）